

貸借対照表

(2026年2月28日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	424,939	流動負債	385,880
現金及び預金	25,988	買掛金	44,779
売掛金	48,592	未払金	53,519
未収消費税等	40,022	関係会社未払金	35,684
関係会社預け金	303,565	未払法人税等	290
その他	6,770	契約負債	248,052
		1年以内返済予定金	3,486
		長期借入金	
		その他	67
固定資産	360,745	固定負債	339,300
無形固定資産	357,944	長期借入金	111,789
ソフトウェア	302,871	長期契約負債	227,510
ソフトウェア仮勘定	55,073		
投資その他の資産	2,801	負債合計	725,180
差入保証金	870	(純資産の部)	
長期前払費用	1,931	株主資本	60,504
		資本金	50,000
		資本剰余金	108,935
		資本準備金	108,935
		利益剰余金	△98,430
		その他利益剰余金	△98,430
		繰越利益剰余金	△98,430
		(うち当期純利益)	(△98,430)
		純資産合計	60,504
資産合計	785,685	負債・純資産合計	785,685

(注)記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

個別注記表**(重要な会計方針に係る事項に関する注記)**

1. 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

ソフトウェア 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(3年～5年間)に基づく定額法を採用しております。

2. 重要な収益及び費用の計上基準

ゴールベース型資産運用支援 (GBASs) サービスの主な内容は、顧客がゴールベース型資産運用支援サービスに基づく投資一任ビジネスを開始するために必要となる開業支援の提供、システム構築及び月額でのシステムの利用許諾、運用保守を行っております。

開業支援の提供とシステム構築は、契約が一体となっているため、開業支援提供の要素とシステム構築要素の独立販売価格の比率に基づいて収益を按分しております。

開業支援提供の履行義務は、契約期間にわたり概ね一定の役務を提供するため、時間の経過に応じて履行義務が充足されることから、契約期間にわたり収益を認識しております。

システム構築の履行義務は、システムの利用期間にわたって履行義務が充足されるため、当該利用期間に応じて収益を認識しております。

なお、開業支援の提供とシステム構築は、サービス提供前に顧客から対価を受け取るため、契約負債を認識しております。

システムの利用許諾、運用保守の履行義務は、時間の経過に応じて履行義務が充足されるため、役務を提供する期間にわたり月額料金を収益認識しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度期末
普通株式	3,105	20,336	—	23,441

(注) 普通株式の発行済株式数の増加20,336株は、第三者割当による新株発行の増加であります。

以上